



3時間目で勉強したように、弥生時代の人たちにとってお米はとても大切な食べ物だった。だけど、**お米ばかりを食べていたわけではないよ**。朝日遺跡からは、ほかにもたくさんの食べ物がみつかった。たとえば、下はモモのたね。上はヒョウタンの種。ヒョウタンは食べたり、入れ物に使ったりしたようだ。そのほかにも、木の実やマメなどがみつかった。



クロ

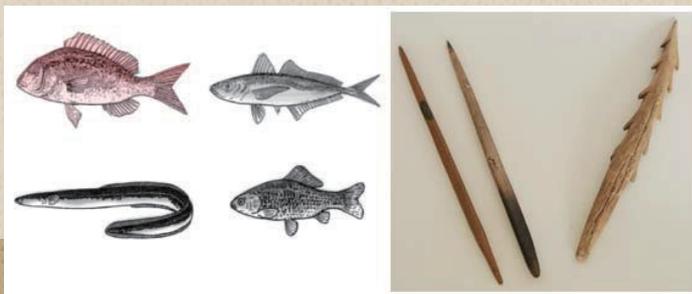


アカ

ところで、下の写真は何かわかるかな。土のなかに白いものがたくさん埋まっているよね。**これは貝殻**。ハマグリやカキ、それにシジミもあるんだ。昔の人たちが食べたあとの貝殻をすてた場所を**貝塚(かいづか)**という。今みたいにゴミの収集があったわけではないから、ムラのなかのきまった場所に貝をすてていたんだ。



貝塚からは、貝だけでなく**小さな魚の骨**もみつかると。この骨をしらべると、昔の人が食べた魚の種類がわかるんだ。朝日遺跡からはいろいろな魚の骨がみつかった。アジ、スズキ、タイ、カレイなど海の魚、ウナギやフナなど川や池にすむ魚をとっていたことがわかっている。魚をとるときは、**シカの角や骨**でつくられた**ヤス**を使っていた。ほかにも網のおもりや釣り針もみつかった。いろいろな方法で魚がおこなわれていたようだ。



クロ



アカ

魚だけでなく**動物の肉**もしっかり食べていた。写真はイノシシ(上)とシカ(下)の頭の骨で、朝日遺跡で多くみつかった動物なんだ。だけど、これらの動物はどうやってつかまえたんだろう。右の写真はシカの腰の骨だけど、左側にささっている小さなものは、**石のヤジリ**なんだ。**弓矢を使って狩り**をしていたんだね。

